

江工関東遊歩クラブの皆様へ

幹事A40 河野 一史

E47 千代延 武

報告

第 16 回野山散策に、11 月3日(土)~4日(日)の両日で〈龍王峡の渓谷美を訪ね川治温泉に浸かる〉に、初参加の M34 島田さんを含めて 6 名で行って来ました。

浅草駅 7:30 発「けごん1号」にて出発しました。下今市発車後、私達の乗っている電車は、右側に進むはずが左側に進路をとり、男体山に向かって行くのです。

此処で大失態に気付きました。

下今市で乗換えなければいけなかったのです。日光駅到着後、上り電車に乗り下今市に戻り、龍王峡駅に予定より 30 分遅れで到着しました。駅を出て、みやげ物屋で昼食の調達をして、石段を下り、間近で虹見の滝を眺め、吊橋の虹見橋から白龍峡の急な川の流れと、緑の川面、兩岸の白い岩肌、木々の紅葉、空を見上げれば所々に青空も見える。次のむささび橋では、兩岸が迫った、青龍峡は豪快そのもの、水音も響いていました。大きく川が蛇行する白岩半島で、河原に降り昼食にしましたが、風が強くて寒く、そそくさとコースに戻りました。電灯のない 3 つのトンネルを通り、小綱ダム脇の山道の入口に「此の先の黄金橋は、14 時~22 時は通行止め」との貼紙があったので、引返して対岸の道から行こうとアドバイスがありました。先行メンバーに引きずられて行くと、何の問題もなく渡れ、鬼怒川温泉湯元駅から温泉街を一周して、予定より 15 分早く宿に到着しました。早速内湯に浸かり、メンバー 4 名は川の対岸の名湯薬師の湯に行き、足腰を労わりました。夕食は、旬の味覚たっぷりの懐石料理で、メンバー全員が絶賛でした。

古里の話から、神楽・旅・クラブの話題で、楽しいお酒となりました。部屋酒を飲んでいると、ドーン・ドーンと音が響き、窓の外が明るくなり花火が始まり、石橋さんは見学に行かれました。

2 日目は朝から快晴で、出来たて作りたての温かい朝食を美味しく頂き、宿の主人に二度の食事の賛辞とお礼を言って、宿を後にしました。

電車とバスを乗継ぎ、40 分で東武ワールドスクエアに到着。精巧に 25 分の 1 で再現された建造物、その周囲に配置されたミニチュアの人々の豊かな表情、人形達が歌い・踊り・行進して楽しませてくれました。駅に戻り昼食後、鬼怒川沿いの遊歩道に行くと、木々の間から、鬼怒川ライン下りの舟が 4 隻早瀬に揉まれて下って行きました。立ち寄った鬼怒楯大吊橋は大きく揺れていました。駅に戻り、「きぬ 128 号」で 16 時 45 分浅草到着で散会しました。

